

はかた匠芸 (3610)

2017/12 通期は大幅な収益拡大から完全黒字化の見通し

TOKYO PRO MARKET | 専門衣料製造小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG 3610 JP | REUTERS 3610.T

- 2016/12 通期は売上高が前期比 11.2%増の 8.78 億円、営業利益は 816 万円（前期は 2,090 万円の営業損失）、経常利益が 374 万円（前期は 2,274 万円の経常損失）と黒字転換し、当期純損失は 1,102 万円（前期は 2,365 万円の赤字）となったが赤字幅は縮小となった。
- セグメント別の収益では、レディース和装事業は売上高が同 11.6%増の 8.16 億円、セグメント利益が同 5.6%減の 1,432 万円となった。男きもの事業は売上高が同 6.5%増の 6,267 万円となったが、セグメント損益は縮小となったものの 616 万円の赤字（前期は 3,608 万円の赤字）となった。ただ、2014/4 より参入した男きもの事業を今後の核に据え、市場開拓に注力している。
- 2017/12 通期の会社計画は、売上高が同 24.3%増の 10.92 億円、営業利益が同 2.3 倍の 18 百万円、経常利益が同 4.7 倍の 14 百万円、当期純利益は黒字転換の 13 百万円である。

What is the news?

2016/12 通期は売上高が前期比 11.2%増の 8.78 億円、営業利益は 816 万円（前期は 2,090 万円の営業損失）、経常利益が 374 万円（前期は 2,274 万円の経常損失）と黒字転換したが、当期純損失は 1,102 万円（前期は 2,365 万円の赤字）となったが赤字幅は縮小となった。

セグメント別の収益では、レディース和装事業は売上高が同 11.6%増の 8.16 億円、セグメント利益が同 5.6%減の 1,432 万円となった。営業部員増に伴う受注増、販売会における経費管理の徹底を行った。男きもの事業は売上高が同 6.5%増の 6,267 万円となったが、セグメント損益は縮小となったものの 616 万円の赤字（前期は 3,608 万円の赤字）となった。ただ、2014/4 より参入した男きもの事業を今後の核に据え、市場開拓に注力している。男きもの専門店「SAMURAI」ブランドの確立に向け、低価格高品質な商品を提供。しかしながら、着付け教室を中心に潜在的な需要掘り起こしを図ったが、受注獲得には結びつかなかった。

How do we view this?

2017/12 通期の会社計画は、売上高が同 24.3%増の 10.92 億円、営業利益が同 2.3 倍の 18 百万円、経常利益が同 4.7 倍の 14 百万円、当期純利益は黒字転換の 13 百万円である。

レディース和装事業では、引き続き生産体制改善による製造原価率の改善や仕入商品の見直しによる仕入原価率の改善を進め、新たな販路拡大により収益拡大を目指している。男きもの事業では、男きもの専門店「SAMURAI」のブランド価値の確立によって増収を目指す、引き続き市場開拓のための先行投資を見込んでいる。

業績推移

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12CF
売上高(百万円)	750.82	206.32	528.26	790.43	878.94	1,092
経常利益(百万円)	-7.38	-10.46	-119.79	-22.75	3.74	14
当期純利益(百万円)	-4.83	-6.99	-134.14	-23.65	-11.03	13
EPS (円)	-20.12	-19.52	-259.41	-45.69	-21.30	26.23
PER (倍)	-	-	-	-	-	19.82
BPS (円)	192.86	226.26	-21.76	-76.59	-97.89	-
PBR (倍)	2.70	2.30	-	-	-	-
配当 (円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(※)CFは会社計画)

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

配当予想 (円) 0.00 (会社計画)
 株価(円) 520 2017/4/21(基準値)

会社概要

2007/3に日本和装HDの100%子会社として設立された。はかた匠芸は、日本和装グループ会社の中で製造部門を有する唯一の子会社として、織物を製造販売。主力は「博多帯」であり、日本三大産地のひとつである福岡県で織物の製造販売を行っている。

かねてより和装文化に関する豊富な知識を有する人材を「伝統文化テラー」として委任契約を締結、契約企業各社が商品販売の際には、「伝統文化テラー」が和装文化に関する知識を受講者へ適切に伝達することで、着物に関する「潜在市場の掘り起こし」に注力してきた。

2009/1に日本和装HD社の取引先倒産から、同社の博多帯の製造工場(株式会社匠芸)も倒産の危機にあり、はかた匠芸が匠芸の従業員を受け入れ、博多帯の製造工場の運営に携わることとなった。以降、はかた匠芸は、日本和装グループにおいて、帯の製造部門を有する会社としての位置付けとなった。2012/3に商号を日本和装ホールセラーズ株式会社から現在の株式会社はかた匠芸へ変更。2014/4には博多織工業組合に加入し、同月に東京銀座・京都祇園に男きもの専門店「SAMURAI」を開店。2014/7に東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場した。

企業データ



主要株主(2016/12/31)

株主名	(%)
1.日本和装ホールディングス株式会社	77.23
2.酒井 茂	2.12
3.株式会社 井上	1.93

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

袁 鳴

ming.yuan@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。